

令和3年11月12日付けで入札公告した「3入札第141号 高性能パソコン設備」について、仕様書の一部を下記のとおり変更する。

令和3年12月3日

長崎県知事 中村法道

記

変更箇所：システム構築条件（仕様）

（2）を削り、（3）を（2）とし、（4）を（3）とし、（5）を（4）とし、（6）中「端末の管理についてはMDM（モバイルデバイスマネジメント）を使用すること。」を削り、同号を（5）とする。

システム構築条件(仕様)

(1)クライアント(教師用・生徒用コンピュータ)・サーバ型のLANとする。(設定・作業)また、既存の構内LANに接続するものとし、全てのコンピュータからインターネット接続するものとする。

(2)生徒用のコンピュータについて、次の操作ができること。

各ソフトの実行、サーバ(既存校内LANサーバ)に対するアクセス、インターネット接続及び各種ユーティリティの実行ができること。

(3)ネットワークについて

他教室のとデータ送受信やインターネット接続が出来るように必要な環境設定を行うこと(プロキシ及びDNS等については、別途担当部署より指示する。)

コンピュータ間の接続はすべてカテゴリ6A、16ポート以上のHUB(10Gで可)で接続すること。

HUB間の接続は並列式とし、サーバ機や他教室との接続においてはスイッチングHUBを使用すること。

プリンタ・大判プリンタは、教師側に配置し、各コンピュータから全てのプリンタを選択(出力)できる設定とすること。

(4)サーバの設定について

ファイルサーバ、メールサーバの設定等については、事前に学校との打ち合わせを行い、既存のサーバの設定も確認のうえ、必要な設定・構築を行うこと。

また、サーバには障害に備えて、バックアップデータを保存できる構成とすること。

ユーザー区分を設け、登録するユーザーはそれぞれの区分を選択するだけでアクセス制限などの適切なセキュリティが自動設定されること。

新規ユーザーは、管理者の監督のもとクライアント端末からID、パスワードを登録することができること。

各クライアントがmacOS Updateを行えるよう設定を行うこと。

(5)ソフトについて

環境復元ソフトについては、macOSやウイルスバスターのパターンファイル更新が自動実行できるように設定を行うこと。

各ソフトは、構成明細書提出時における最新バージョンとし、指定したOSに対応していること。

ソフトの説明書は、コンピュータ台数と同数であること。ただし、学校バック等で納入する場合はこの限りではない。

ソフトは全てインストールし、動作確認を行うこと。